

AM/FMラジオレコーダー  
ラジとる

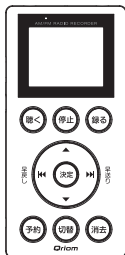
# YRT-R200

取扱説明書(保証書付)



## ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)  
を最後までお読みのうえ、  
正しくお使いください。



やりたいことがわかる  
逆引き目次 ▶ 2ページ

- ◆ AM/FMラジオを受信、録音できます
- ◆ ラジオ予約録音 最大5件
- ◆ ボイスレコーダー機能
- ◆ ライン入力録音機能
- ◆ リピート再生
- ◆ マイクロSDスロット搭載  
(マイクロSDHC32GBまで対応)
- ◆ USB ACアダプター(別売品)  
電源使用可能

## 商品に関するお問い合わせ

### キュリオムサポートセンター



**0570-00-9106**

受付時間:

月～金 午前10時～午後5時30分  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では  
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ:

**E-mail: support@qriom.com**

ホームページ: **キュリオム**

この度は、AM/FMラジオレコーダーラジとるをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、機能を十分にいかして正しくご愛用下さい。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立て下さい。

はじめに初期設定を行ってください → P11へ



# 目次

## 1) 安全上のご注意

安全上のご注意	6
---------	---

## 2) ご使用の前に

電池に関する注意	6
使用できる電池について	7
付属品一覧	8
各部の名称	9

## 3) はじめにする初期設定

電池を入れる	10
電源を入れる（電源を切る）	10
日時を設定する	11
ラジオの基本画面説明	12

## 4) 使い方の基本説明

ステレオイヤホンの使い方	13
マイクロSDカード（別売・市販品）の使い方	13
別売のACアダプター、USBケーブルの使い方	17
ホールドスイッチの使い方	18
音量ダイヤルの使い方	19

## 5) ラジオを聴く

アンテナの準備	19
ラジオを受信するためのコツ	21
ラジオを聴くための操作ボタン	21
ラジオの受信方法	22
手動で聴く	22
自動で放送局を登録する	23

自動で登録した放送局を聴く	23
自動で登録した放送局を消去する	24

## 6) ラジオを録音する

ラジオ録音中画面	25
ラジオを録音するための操作ボタン	25
ラジオの録音方法	26

## 7) ラジオモードで録音したファイルを再生する

ラジオ再生モード 停止/再生中画面	28
ラジオモードで再生するための操作ボタン	28
ラジオモードでの再生方法	29

## 8) ボイスを録音する

マイクについて	30
ボイスモード録音中画面	31
ボイスモードで録音するための操作ボタン	31
ボイス録音方法	32

## 9) ボイスモードで録音したファイルを再生する

ボイスモード 停止/再生中画面	33
ボイスモードで再生するための操作ボタン	33
ボイスモードでの再生方法	34

## 10) 外部入力で録音する

ラインケーブルについて	35
外部入力モードで録音する	36

## 11) 外部入力で録音したファイルを再生する

外部入力モードでの再生方法	38
---------------	----

## 12) リピートモードを変更する

リピートモードを変更する	39
--------------	----

## 13) 録音したファイルを消去する

録音したファイルの消去方法	40
---------------	----

## 14) 予約して録音する

予約して録音するための操作ボタン	41
予約録音方法	42
予約の表示	45

## 15) パソコンとの通信

パソコンとの接続、取り外し	45
---------------	----

## 16) その他

データの取り扱いに関する注意	48
著作権について	48
故障かな・・・?と思ったら	49
製品仕様	51
付属品等のオプション販売のご案内	52
免責事項	53
お手入れの仕方	54
アフターサービス	55
個人情報保護のお取り扱いについて	55
保証書	

## 1) 安全上のご注意

※ご使用の前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告	
 分解禁止 ●火災・感電・けがの原因となります。	 指示に従う ●本体の変形・故障の原因となります。
 禁止 ●落ちたり曲れたりして、けがや故障の原因となります。	 水ぬれ禁止 ●ショート・感電の恐れがあります。
 禁止 ●火災・感電の恐れがあります。	 指示に従う ●感電やけがの恐れがあります。

## 2) ご使用の前に

### 電池に関する注意

下記の注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

- ① 必ず電池のプラス(+)、マイナス(-)を正しく挿入してください。
- ① 爆発及び破損の恐れがあるので、電池を分解したり熱を加えたりショートさせたりしないで下さい。
- ① 長時間使用しない時は、電池を抜いて保管して下さい。抜かない場合、液もれの原因となります。
- ① 万一、液が体についたときは傷害を起こす可能性があります。すぐにきれいな水で洗い流して下さい。また、液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い応急処置をした後、直ちに医師の治療を受けて下さい。

- ❶ 電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談して下さい。
- ❷ 指定された種類の電池を使用して下さい。
- ❸ 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・ケガの原因になります。
- ❹ 直接半田付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。
- ❺ ⊕と⊖端子を接続しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。
- ❻ 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護して下さい。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。発熱や感電・火災の原因になります。
- ❼ 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。
- ❽ 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- ❾ 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- ❿ 充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。  
（本機で充電はできません）
- ⓫ 万一、使用中に異常な音がる、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、①けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。②お買い上げ店またはキュリオムサポートセンターへお問い合わせください。放置すると火災や火傷の原因になります。
- ⓬ 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- ⓭ 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。
- ⓮ 火気のある場所に電池を置かないでください。
- ⓯ 充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- ⓰ 乾電池や容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- ⓱ 充電時は、同時に充電した充電電池をご使用ください。（本機で充電はできません）
- ⓲ 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

## 使用できる電池について

本製品でご使用になることができる電池は以下の電池です。この電池以外をご使用ならないよう十分に注意してください。

- 単4形アルカリ乾電池（推奨：山善、パナソニック、東芝、日立マクセル、SONY等の日本メーカーが生産している電池）
- ニッケル水素充電電池（推奨：パナソニック 社製エネルーブ）

<ご注意>

- ニッケル水素充電電池（パナソニック 社製エネルーブなど）をご使用の際は充電が満タンの状態でも電池残量表示が若干減っている状態になります。これはアルカリ乾電池を基準に残量表示を設定しているためで、アルカリ電池の電圧が1.5Vに対してニッケル水素充電電池は1.2Vと低いため起こる現象です。製品の不具合ではございませんのでご了承ください。
- 日本以外のメーカーのアルカリ電池やニッケル水素充電電池は本製品の性能を十分に発揮できない場合がありますのでご了承ください。

- ニッケル水素充電電池はマイクロSDカード、マイクロSDHCカードの種類や容量によってご使用になれない場合がありますので、ご注意ください。
- オキシライド乾電池はご使用できませんのでご注意ください。

## ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が入ることがあります。

## 付属品一覧

下記のとおり、付属品が同梱されていることを確認してください。

<p>取扱説明書</p> 	<p>ステレオイヤホン</p> 	<p>マイクロSDカード (4GB)</p>  <p>(本体内にあらかじめセットしてあります)</p>
--	---	--

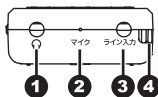
### ※ご注意

付属のイヤホン、マイクロSDカードは試供品です。  
保証の対象外となりますのでご了承ください。



## 各部の名称

<上面>

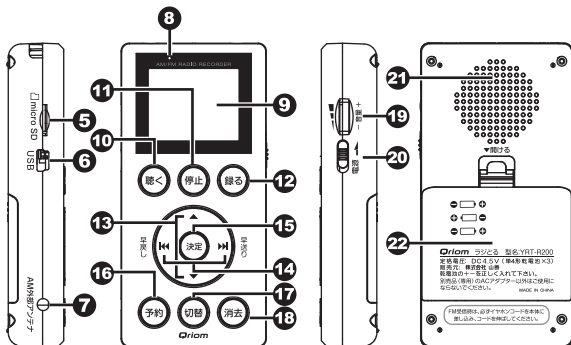


<左側面>

<正面>

<右側面>

<背面>



① イヤホンジャック

② マイク

③ ライン入力端子

④ ストラップ取付部

⑤ マイクロSDスロット

⑥ USB端子

⑦ AM外部アンテナ端子

⑧ 録音LED

⑨ 液晶画面

⑩ 聴くボタン

⑪ 停止ボタン

⑫ 録るボタン

⑬ 上下カーソルボタン

⑭ 左右カーソルボタン

/早戻し/早送りボタン

⑮ 決定ボタン

⑯ 予約ボタン

⑰ 切替ボタン

⑱ 消去ボタン

⑲ 音量ダイヤル

⑳ 電源スイッチ

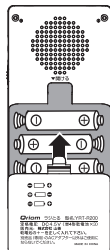
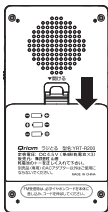
㉑ 内蔵スピーカー

㉒ 電池カバー

### 3) はじめにする初期設定

#### 電池を入れる

- 1 電池カバーの爪を下へ強く押しながら、手前に引いて外してください。
- 2 単4形アルカリ乾電池3本を＋と－の向きに注意して入れてください。



※ 電池は長時間使用しない時は必ず取り外してください。  
液漏れの原因となる恐れがあります。

※ ご自宅でのご使用時は、別売のACアダプター（YVR-AC1・P52参照）を使用することをお勧めいたします。

※ 電池交換の場合、時計がリセットされ、2018年6月1日0時0分になりますので、改めて時計をセットしてください。

#### 電源を入れる（電源を切る）

<電源を入れる/電源を切る>

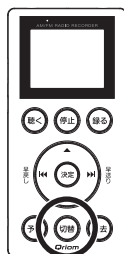
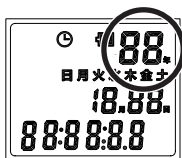
電源スイッチを「↑」の方へ約2秒ほどスライドさせます。

※ ご購入後初めて電源を入れた場合、時計設定の画面に切り替わります。



## 日時を設定する

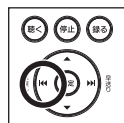
- 1** 電源オンの状態で、切替ボタンを約2秒長押しすると、年の場所が点滅を開始します。時刻設定の点滅は最後のボタン操作から約10秒ほどで消えます。（点滅している間、時計設定が可能です。）



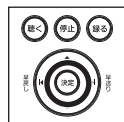
- 2** 上下カーソルボタンで年を合わせます。決定ボタン、または右カーソルボタンを押すと月へ点滅が移動します。



- 3** **2**と同様にして月/日/時/分/秒を合わせていきます。前の場所を設定し直す場合は早戻し/左カーソルボタンを押します。



- 4** 秒のところで決定ボタンを押すと設定が完了します。曜日は自動的に設定されます。  
※お知らせ  
上カーソルボタンを長押しすると現在時刻が表示されます。（表示時間は3秒です。）



## ラジオの基本画面説明



- ① AM/FM表示
- ② ラジオの予約録音表示
- ③ ホールド表示
- ④ 電池残量表示
- ⑤ 年表示、登録した周波数番号の表示
- ⑥ ラジオの周波数

## 4) 使い方の基本説明

### ステレオイヤホンの使い方

付属のステレオイヤホンをイヤホン端子に差しします。

※ステレオに対応しているのはFMラジオ聴取時のみとなりますのでご注意ください。

※付属のステレオイヤホンは消耗品となります。破損又は紛失した場合、市販品をお求め頂くか、別売のステレオイヤホン（型番：YVR-ER2）をお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。（P52を参照してください。）

※付属のステレオイヤホンは保証の対象外となりますので、ご了承ください。



### マイクロSDカード（別売・市販品）の使い方

※マイクロSDカードを使用する際は、初めにパソコンでフォーマットを実施してください。

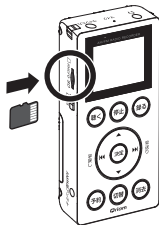
マイクロSDカードの向きに注意して、ゆっくりと挿入してください。

※ご注意

マイクロSDカードを無理に挿入すると取り出せなくなりますのでご注意ください。

その際、有償修理となりますのでご了承ください。（保証対象外）

本機にはすでにマイクロSDカードがセットされていますので、取り出す際は軽く押し込んでください。



## ご注意

- ※ 無理にマイクロSDカードを入れると、本機の破損等、思わぬトラブルの原因になりますのでご注意ください。
- ※ NTFS形式でフォーマットされたマイクロSD、マイクロSDHCカードは絶対に本機に挿入しないでください。誤って挿入してしまった場合、保存されたデータがすべて破損してしまいますのでご注意ください。

### ■ マイクロSD、マイクロSDHCカードの取り扱いについて

---

## ご注意

- 市販品のマイクロSD、マイクロSDHCカードをお買い求めください。
- サンディスク社製を推奨いたします。
- 再生時間は再生ファイル、使用方法により異なる場合があります。
- データ転送速度は使用環境によって異なる場合があります。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカーや種類によっては使用できないことがありますのであらかじめご了承ください。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードがフォーマットされていない場合、本機で正常に録音／再生ができないことがあります。あらかじめパソコンでフォーマットしてからご使用ください。
- ニッケル水素充電電池はマイクロSD、マイクロSDHCカードの種類や容量によってご使用にできない場合があります。

### ■ マイクロSD、マイクロSDHCカードを本機に認識させる際のご注意

---

## ご注意

本機の電源が入っている状態でマイクロSD、マイクロSDHCカードをプッシュすると簡単にマイクロSD、マイクロSDHCカードを認識します。電源を入れる前からマイクロSD、マイクロSDHCカードを入れている場合は、電源を入れた時にマイクロSD、マイクロSDHCカードが認識されていない可能性があります。

その際は電源が入っている状態でいったんマイクロSD、マイクロSDHCカードをプッシュして取り出し、再度プッシュして入れると簡単に認識します。電池を入れる前にマイクロSD、マイクロSDHCカードを入れてしまった時も上記と同様にいったん取り出し、再度入れると簡単に認識します。

## 使用できるマイクロSD、マイクロSDHCカードについて

本機ではmicroSD™カード（マイクロSDカード）、microSDHC カード（マイクロSDHCカード）が使用できます。（別売・市販品）

※マイクロSDカード最大2GB、マイクロSDHCカード最大32GBまで対応可能です。

マイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカーや種類によって正常に動作しない場合や、処理速度が遅くなる場合がありますのでご了承ください。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機、マイクロSD（SDHC）カード及びパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。™

### <再生について>

- 本製品で再生可能な形式はMP3、WAV形式です。
- 収録されている音楽ファイルの形式がMP3であっても著作権が保護されているファイルの場合は再生できません。  
※P51 製品仕様の再生形式を参照してください。

### <録音について>

- 録音している際には絶対にカードを取り外したり、電源を切ったりコードを抜いたりしないでください。マイクロSD、マイクロSDHCカードに入っている音楽データが破損する恐れがあります。
- マイクロSD、マイクロSDHCカードへの録音は記録互換上まれに音飛びなどが生じる場合があります。これはマイクロSD、マイクロSDHCカードの特性により発生するもので、本機の故障ではありません。お客様が記録された内容については、マイクロSD、マイクロSDHCカードに正しく録音されているか確認していただくことをお勧めいたします。

- マイクロSD、マイクロSDHCカードに録音する際の電池持続時間はマイクロSD、マイクロSDHCカードのメーカー、種類により変動いたしますのでご了承ください。

### ご注意

- 使用後取り出された後は必ずケースに入れて保管してください。
- 分解・改造をしないでください。分解・改造を行ったカードを本機に挿入すると故障の原因となります。
- 貼られているラベルははがさないでください。
- ラベル・シールを貼らないでください。
- 金属端子部分に触らないでください。



SDロゴはパナソニック(株)、San Disk Corporation、(株)東芝の登録商標です。



## 別売のACアダプター、USBケーブルの使い方

別売のACアダプターを使用すると、電池がなくても使用することができます。ご自宅でのご使用時は、別売のACアダプターを使用することをお勧めいたします。

※ 専用品をお取り寄せとなりますので、各販売店、又は下記のネットショップにお問い合わせください。

市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

YAMAZEN 暮らしのeショップ

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

ラジオボイス用アダプター

型番：YVR-AC1（P52を参照してください）

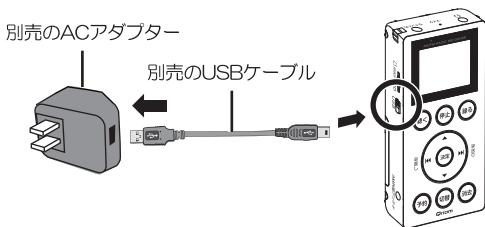
USBケーブル

型番：YVR-USB1（P52を参照してください）

※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。

別売のACアダプターと本機を別売のUSBケーブルで接続します。

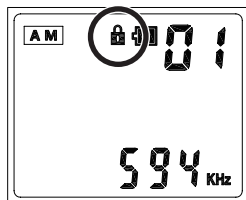
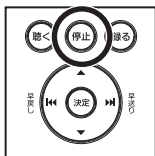
注意：充電はできません。



- ※ 電池が本機に入っている場合は、別売のACアダプターに電源が切り替わります。
- ※ 本機へ別売のACアダプターを接続する際は、本機の電源をオフ（P10参照）にして行ってください。
- ※ 別売のACアダプター以外はお使用になれませんのでご注意ください。

## ホールドスイッチの使い方

- 本体の停止ボタンを2秒以上長押しすると、誤動作を防ぐことができます。
- ホールド状態を解除するには、再度停止ボタンを2秒以上長押しします。
- ホールド状態の場合は、液晶に右図のように表示されます。



注意：本体が動作しない場合は、ホールドスイッチがオンになっていないか確認してください。

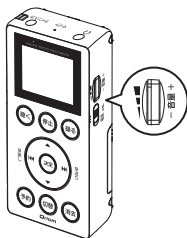
## 音量ダイヤルの使い方

本体右側面の音量ダイヤルを回し、音量を変えることができます。

### 注意

※ラジオを聴いている時はラジオの受信状態によっても音量が変わることがあります。

※本体スピーカーは、音源により最大音量で再生し続けると破損する原因となりますのでご注意ください。



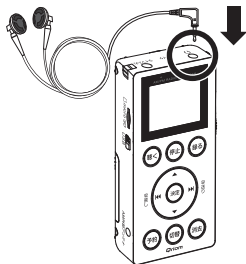
## 5) ラジオを聴く

### アンテナの準備

#### 〈FMラジオの場合〉

FMラジオをイヤホンで聴くときは、イヤホン端子に差すとアンテナになります。

※しっかりと奥まで差し込み、コードを伸ばしてください。



## ＜AMラジオの場合＞

AMラジオのアンテナは本体に内蔵されていますので、屋内でご使用の場合は本体を持ってできるだけ窓際等の屋外に近いところへ移動してご使用してください。

※ 屋外に比べて屋内ではラジオ感度は悪くなります。

※ 鉄筋コンクリートビル内では受信することができませんので、できるだけ窓際へ移動してください。

※ パソコンやテレビ等の電化製品の近くでは受信状態が非常に悪くなりますので、できるだけ離れてご使用ください。

※ AM外部アンテナは別売品です。（専用品をお取り寄せとなりますので、販売店にお問い合わせください。また下記のネットショップにて販売をしております。市販品はご使用になれませんのでご注意ください。）



ラジオボイス用AMループアンテナ

型番：YVR-AM2（P52を参照してください）

各販売店にお問い合わせください。

市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

また、下記のネットショップでも販売しております。

YAMAZEN 暮らしのeショップ

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。

## ラジオを受信するためのコツ

### AM ラジオ

できるかぎり窓際で聴いてください。

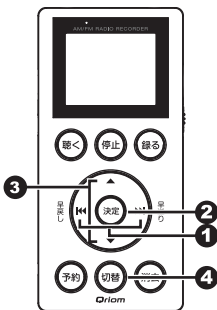


### FM ラジオ

できるかぎりイヤホンのコードを伸ばしてください。



## ラジオを聴くための操作ボタン

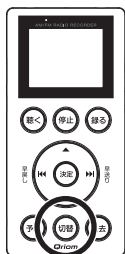
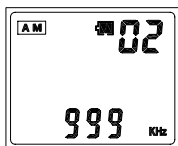


- ① 左右カーソルボタン/早戻し / 早送りボタン
- ② 決定ボタン
- ③ 上下カーソルボタン
- ④ 切替ボタン

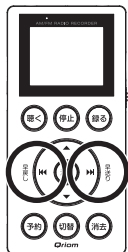
## ラジオの受信方法

### 手動で聴く

- 1 電源を入れ、液晶画面に表示されるマークがAM、またはFMになるまで切替ボタンを押します。  
(切替ボタンを押すごとに、AM→FM→ボイス→外部入力→AMの順でモードが変わります。)

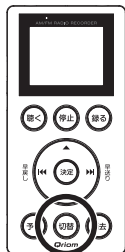


- 2 左右カーソルボタンで聞きたい放送局を選択します。



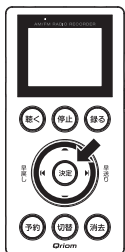
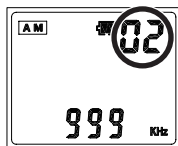
## 自動で放送局を登録する

- 1** 切替ボタンを押してAMかFMを選択します。



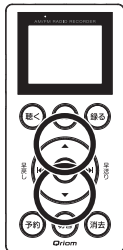
- 2** ラジオを受信中に、決定ボタンを二秒以上長押しすると、自動的に周波数が移動して放送局が登録されます。（下図の丸で囲った部分が受信した放送局の登録番号となります）

放送局の最大登録数はAM、FMそれぞれ20局です。



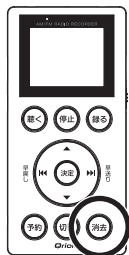
## 自動で登録した放送局を聴く

上下カーソルボタンで登録された周波数を選択します。



## 自動で登録した放送局を消去する

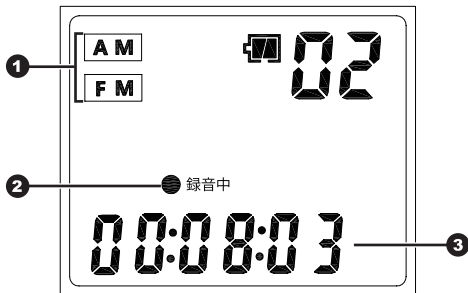
消去したい登録番号を上下カーソルボタンで選択し、消去ボタンを押すと画面にdelと表示され、もう一度消去ボタンを押すとその放送局が削除されます。すべての放送局を削除したい場合は、消去ボタンを長押しして、del ALL CHと表示が出てからもう一度消去ボタンを押します。





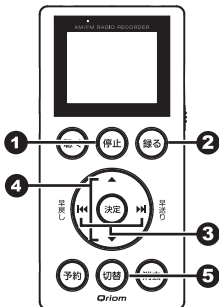
## 6) ラジオを録音する

### ラジオ録音中画面



- 1 AM/FM表示（AM又はFMのどちらか一方を表示します）
- 2 録音中表示
- 3 録音経過表示（※聴くボタンを押すと録音残時間を表示します）

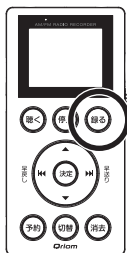
### ラジオを録音するための操作ボタン



- 1 停止ボタン
- 2 録るボタン
- 3 左右カーソルボタン/早戻し/早送りボタン
- 4 上下カーソルボタン
- 5 切替ボタン

## ラジオの録音方法

- 1 ラジオを受信中に録るボタンを押します。録音LEDが赤く点灯し、録音画面に切り替わります。



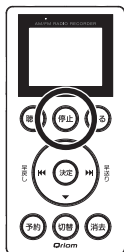
- 2 画面が録音中になり、周波数の表示が経過時間、右上が現在録音中のファイル番号になります。



- 3 停止ボタンを押すと、録音を停止して保存します。

※お知らせ

録音中に聴くボタンを短押しすると録音残時間が約2秒間表示されます。



<お知らせ>

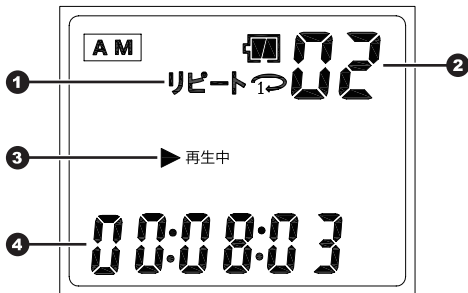
### 録音制限容量

1ファイルで録音できる容量は約2GBです。約2GBに到達した場合、自動的に録音を停止し現在のファイルを保存します。その後、自動で新しいファイルが作成され録音が始まります。

※ファイル保存と録音再開までの数十秒間は録音されませんのでご注意ください。

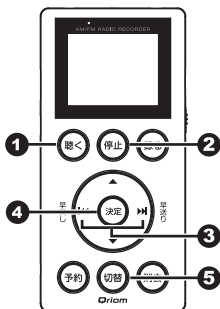
## 7) ラジオモードで録音したファイルを再生する

ラジオモード・停止／再生中画面



- ① リピート表示
- ② ファイル番号
- ③ 再生中表示
- ④ 再生停止中：録音時間  
再生中：再生経過時間

ラジオモードで再生するための操作ボタン



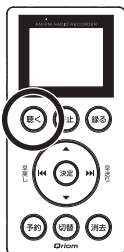
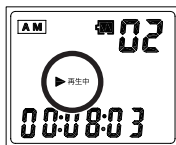
- ① 聴くボタン
- ② 停止ボタン
- ③ 左右カーソルボタン/早戻し/  
早送りボタン
- ④ 決定ボタン
- ⑤ 切替ボタン

## ラジオモードでの再生方法

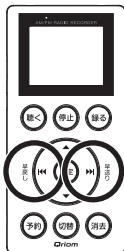
- 1 電源がオンの状態で切替ボタンを使い、AM・FMの再生したい方を選択します。



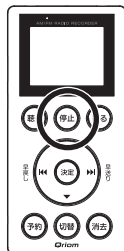
- 2 聴くボタンを押すと、ラジオモードの再生画面が表示されます。



- 3 再生したいファイルを左右カーソルボタンで選択し、聴くボタンを押して再生します。再生中に聴くボタンを押すと、再生が一時停止します。（一時停止中はPAUSEの表示が点滅します。一時停止中のまま約3分無操作状態が続くと再生を停止し、電源を自動的にオフにします。）再生中に左右カーソルボタンを長押しするとそれぞれ早送り、早戻しになります。



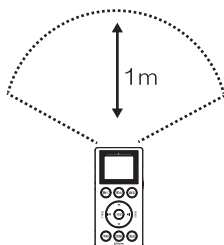
- 4** 再生を止める場合は停止ボタンを押してください。



## 8) ボイスを録音する

### マイクについて

内蔵マイクの有効範囲      本体にマイクが内蔵されています。



※ 録音時の範囲は、本体より約1m以内が目安となります。

#### <お知らせ>

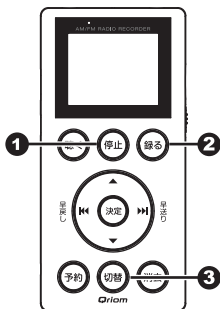
市販の外部マイク等は一切使用できませんのでご了承ください。  
ボイスモード、外部入力モードは録音時を除いて最後に操作を終えてから約3分で自動的に電源が切れます。

## ボイスモード録音中画面



- ① 録音中表示
- ② 録音経過時間
- ③ 録音中のファイル番号

## ボイスモードで録音するための操作ボタン



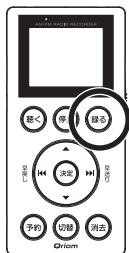
- ① 停止ボタン
- ② 録るボタン
- ③ 切替ボタン

## ボイス録音方法

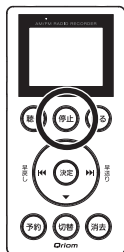
- 1 電源がオンの状態で切替ボタンを押し、ボイスモードにします。



- 2 録るボタンを押すと録音LEDが赤く点灯し、録音が始まります。



- 3 停止ボタンを押すと、録音を停止して保存します。





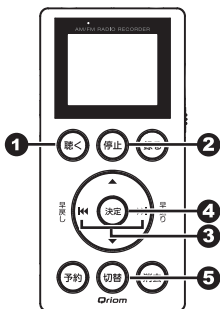
## 9) ボイスモードで録音したファイルを再生する

ボイス再生モード 停止／再生中画面



- ① 再生中表示
- ② リピート表示
- ③ 現在再生中のファイル番号
- ④ 再生停止中・録音時間  
再生中・再生経過時間

ボイスモードで録音するための操作ボタン



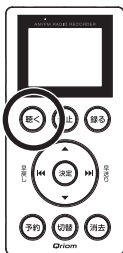
- ① 聴くボタン
- ② 停止ボタン
- ③ 左右カーソルボタン/早戻し/  
早送りボタン
- ④ 決定ボタン
- ⑤ 切替ボタン

## ボイスモードでの再生方法

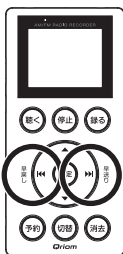
- 1 電源がオンの状態で切替ボタンを押し、ボイスモードにします。



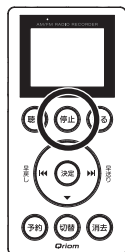
- 2 聴くボタンを押すと、再生モードとなります。



- 3 再生したいファイルを左右カーソルボタンで選択し、聴くボタンを押して再生します。再生中に聴くボタンを押すと、再生が一時停止します。（一時停止中はPAUSEの表示が点滅します。一時停止中のまま約3分無操作状態が続くと再生を停止し、電源を自動的にオフにします。）再生中に左右カーソルボタンを長押しするとそれぞれ早送り、早戻しになります。



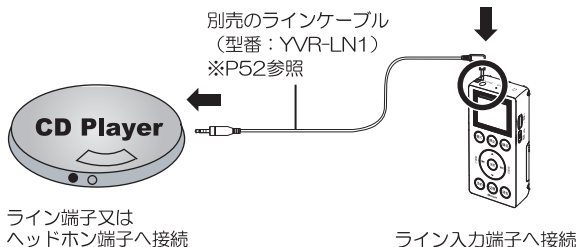
- 4** 停止させる場合は停止ボタンを押してください。



## 10) 外部入力で録音する

### ラインケーブルについて

外部機器から音楽等を録音します。



#### ※ご注意

本機へラインケーブルを接続すると自動的に画面に「LinE In」と表示されますので、切替ボタンを押して外部入力モードに切り替えてください。

CDプレーヤー等の再生元の機器は音量調節機能（ボリューム）がついているものをご使用いただき、出来るだけ音量を大きくして録音してください。

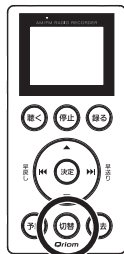
※ 再生のボリュームを大きくし過ぎると音割れすることがありますので、ご注意ください。

ラジオボイス用ラインケーブル  
型番：YVR-LN1（P52を参照してください）  
各販売店にお問い合わせください。  
市販品はご使用になれませんのでご注意ください。  
また、下記のネットショップでも販売しております。  
YAMAZEN 暮らしのeショップ  
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

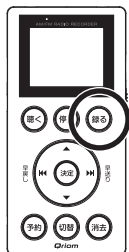
※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。

## 外部入力モードで録音する

- 1 電源がオンの状態で切替ボタンを押し、外部入力モードにします。



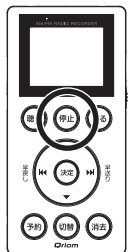
- 2** ラインケーブルで録音したい外部機器としっかり接続し、録るボタンを押すと録音LEDが赤く点灯し、録音が始まります。



- 3** ライン入力端子に接続した外部機器の再生を開始します。

- 4** 停止ボタンを押すと、録音を停止して保存します。

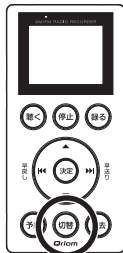
ボイスモード、外部入力モードは録音時を除いて最後に操作を終えてから約3分で自動的に電源が切れます。



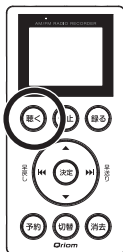
## 1 1) 外部入力で録音したファイルを再生する

### 外部入力モードでの再生方法

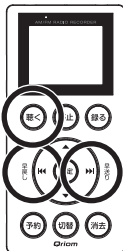
- 1 電源がオンの状態で切替ボタンを押し、外部入力モードにします。



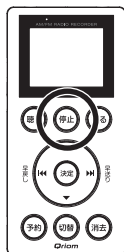
- 2 聴くボタンを押すと、再生モードとなります。



- 3 再生したいファイルを左右カーソルボタンで選択し、聴くボタンを押して再生します。再生中に聴くボタンを押すと、再生が一時停止します。（一時停止中はPAUSEの表示が点滅します。一時停止のまま約3分無操作状態が続くと再生を停止し、電源を自動的にオフにします。）再生中に左右カーソルボタンを長押しするとそれぞれ早送り、早戻しになります。



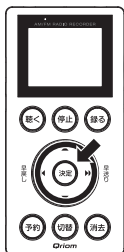
- 4** 停止させる場合は停止ボタンを押してください。



## 12) リピートモードを変更する

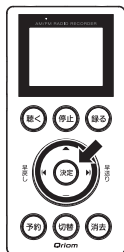
### リピートモードを変更する

- 1** ラジオ、ボイス、外部入力ファイルの再生中に決定ボタンを押します。
- 2** リピートの表示が下図のように変わり、現在再生中のファイルのみが繰り返して再生される一曲リピートになります。もう一度決定ボタンを押すとフォルダに入っているデータを繰り返すフォルダリピートになります。



リピート  ➡ リピート 

- 3** フォルダリピート中に決定ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

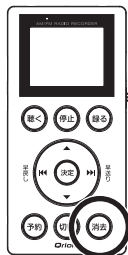


## 13) 録音したファイルを消去する

### 録音したファイルの消去方法

#### ①ファイルを1つずつ消去する

消去したいファイルを再生し、消去ボタンを押すと、画面に del の表示が点滅します。点滅している状態でもう一度消去ボタンを押すとファイルが消去されます。





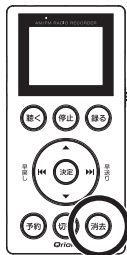
## ②フォルダごとに全部消去する

消去したいフォルダ（モード）を選択し、消去ボタンを長押しします。

画面に「dEL ALL」と表示されるので再度、消去ボタンを短押しすると選択したフォルダ内のファイルが全て消去されます。

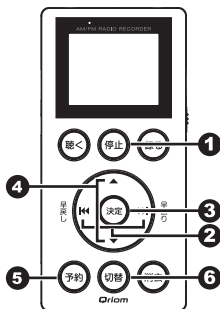
※ご注意

消去したファイルは元に戻すことができませんので十分に注意して操作してください。



## 14) 予約して録音する

### 予約して録音するための操作ボタン



- 1 停止ボタン
- 2 左右カーソルボタン/早戻し/早送りボタン
- 3 決定ボタン
- 4 上下カーソルボタン
- 5 予約ボタン
- 6 切替ボタン

## 予約録音方法

※ 予約設定の点滅中に無操作状態が約30秒続くと予約設定が終了します。

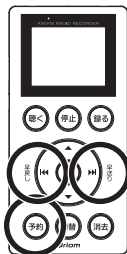
※ 別の予約と時間が重なりますと「no set」と表示され予約が完了しません。予約を削除するか、または時間をずらして再度設定して下さい。

### ①指定日予約

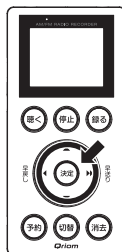
- 1 予約ボタンを長押し、予約番号1～5のうち一つを左右カーソルボタンで選んで、決定ボタンで選択します。

〈お知らせ〉

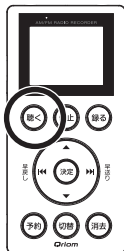
予約中に前の項目へ戻る際は「停止」ボタンを押します。



- 2 左右カーソルボタンでONを表示させ、決定ボタンを押します。



- 3** 年月日が表示されている画面で、予約設定したい日付を設定します。左右カーソルボタンで選択し、決定ボタンを押します。（予約番号と曜日が表示される場合は切替ボタンを押してください。）



- 4** 予約したい周波数を設定します。左右カーソルボタンでAMかFMを選択し、決定ボタンを押した後、左右カーソルボタンで設定するか、上下カーソルボタンで登録した周波数を選び決定ボタンを押します。



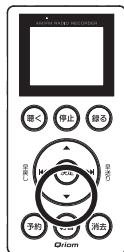
- 5** 開始時刻と終了時刻を左右カーソルボタンで選択し、終了時刻の分の場所で決定ボタンを押すと、予約する前の画面に戻り、予約が完了します。

## ②曜日予約

- 1** 指定日予約の **1**、**2** を参考にして予約の準備をします。



- 2** 「年」が点滅している画面で切替ボタンを押すと1つの曜日が点滅します。曜日が点滅している画面で、左右カーソルボタンを使い予約を入りたい曜日を選択し、上下カーソルボタンでONにします。（曜日は複数選択できます。日付が表示される場合は切替ボタンを押してください。）決定ボタンを押すと次のステップに進みます。



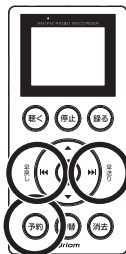
- 3** 指定日予約の **4** ～ **5** と同様に予約を設定します。

## 予約の表示

予約ボタンを長押しすると、予約した日時、または曜日と開始時刻が一件ずつ表示されます。複数予約がある場合、左右カーソルボタンで切り替えられます。

※ご注意

本機では予約の削除は出来ません。予約のON/OFFでOFFを設定するか、予約内容の上書きをしてください。



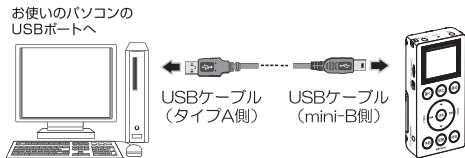
## 15) パソコンとの通信

**!** パソコン操作に関しては、パソコンメーカー様へお問い合わせください。本機の内蔵メモリーはパソコンで認識することができません。

### パソコンとの接続、取り外し

#### 本機とパソコンを接続する

本機とパソコンを別売のUSBケーブル（YVR-USB1・P52参照）を使って接続します。



### <動作環境>

Pentium 500MHz processor以上

Windows Vista/7/8/8.1/10 Mac OS X (version10.2.6以上)

パソコンと接続するとハードウェア認識のメッセージが表示され、USBドライバーがインストールされます。USBドライバーがインストールされると、エクスプローラーの「コンピュータ」の中にリムーバブルディスクが表示されます。

ラジオボイス用USBケーブル

型番：YVR-USB1 (P52を参照してください)

各販売店にお問い合わせください。

市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

また、下記のネットショップでも販売しております。

YAMAZEN 暮らしのeショップ

<http://www.rakuten.ne.jp/gold/e-kurashi/>

※価格につきましては、ご注文店にご確認ください。


### 本機とパソコンの接続を解除する

パソコン画面のタスクバー通知領域の”ハードウェアの安全な取り外し”アイコン (🔌 Windows7/8/8.1/10) をクリックし、表示された本機をクリックし、指示に従い取り外してください。

表示はお客様のパソコンの環境によって異なります。

### ⚠️ ご使用上の注意

- 安全に本機の取り外しを行うために、必ず手順を守ってください。間違った手順で取り外しを行った場合、データ損失や機器故障の原因となることもあります。

 **ご使用上の注意**

- 本機を間違った手順で取り外したことによりパソコン本体などに関する機器のトラブルおよびデータの損失につきましては一切保証しませんのでご了承ください。

本機とパソコンが通信中の際は、本機をパソコンから絶対に取り外さないでください。

**バックアップのすすめ**

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備としてパソコンまたはメモリカードに保存してください。

## 16) その他

### データの取り扱いに関する注意

- パソコンにデータを記録する場合は、著作権法に違反しないよう充分注意してください。当社、および本製品の製造元・流通元・販売元は、本製品が上記のような違反行為に使用された場合、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に伴い、USB接続によりパソコンに書き込んだデータの消失、毀損等によりお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見、または予見した場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害に関しては、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### 著作権について

市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的以外であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権法の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律により処罰の対象になります。



## 故障かな・・・?と思ったら

故障かな・・・?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に次の点をお調べください。

### 電 源

#### ■電源が入らない。

- 電池残量が少ない。  
➡新しい電池に交換してください。
- 電池の+、-が逆。  
➡正しく電池を入れ直してください。
- 動作がおかしい。  
➡電池を一旦抜いて、再度入れ直してください。

### イヤホン

#### ■音声がイヤホンから聴こえない。

- イヤホンをきちんと奥まで差していない。  
➡イヤホンの端子を持って奥まできちんと差し込んでください。
- イヤホンをライン端子に差している。  
➡イヤホンはイヤホンの端子に差し込んでください。
- 音量が小さい。  
➡音量を大きくしてください。

### FMラジオ

#### ■FMラジオの音がよく聴こえない。

- イヤホンを差していない。  
➡イヤホンはアンテナの替わりになるので、イヤホン端子又はライン入力端子に奥まできちんと差し込んでください。

- イヤホンのコードを小さくたたんでいる。  
➡イヤホンのコードは出来るだけ伸ばしてください。

## 録音・再生

### ■録音がうまくできない。

---

- ホールドになっている。  
➡停止を長押ししてホールドをオフにしてください。
- 録音時間、録音件数がいっぱいになっている。  
➡いくつかのファイルを消去してください。  
➡パソコンと本機を接続し、マイクロSDカードのデータをパソコンに移動してください。(P45参照)

### ■再生がうまくできない。

---

- ホールドになっている。  
➡停止を長押ししてホールドをオフにしてください。
- 電池残量が少ない。  
➡新しい電池に交換してください。

### ■録音・再生したデータが音飛びする。

---

マイクロSDメモリーの状態によって再生時、稀に音飛びを生じることがあります。その際は一度メモリーをパソコンでフォーマットしてから、再度録音をお試しください。また、音飛びしているデータを修復することはできませんのでご了承ください。

## 製品仕様

型番	YRT-R200	
外部メモリー	マイクロSD(マイクロSDHC)スロット搭載	
再生形式	WAV 32~1536Kbps	
録音形式	WAV 32Kbps 8KHz	
FMラジオ	周波数範囲	76MHz~95MHz
	感度	30dB $\mu$ 以下
AMラジオ	周波数範囲	522KHz~1629KHz
	感度	86dB $\mu$ 以下
外部出力端子	ステレオイヤホン端子 $\phi$ 3.5mmステレオミニジャック	
入力端子	ライン入力端子 $\phi$ 3.5mmステレオミニジャック、AM外部アンテナ端子	
外部インターフェース	USB端子 USB2.0	
最大フォルダ数	4	
最大ファイル数 /フォルダ毎	99	
最大ファイル数	396	
オーディオ	S/N比	85dB
	周波数特性	20Hz~20KHz
	イヤホン	5mW+5mW
	スピーカー	実用最大出力200mW
OS	Windows VISTA/7/8/8.1/10、Mac OS X (Version 10.2.6) 以上	
電源	DC4.5V、単四形アルカリ乾電池 $\times$ 3 (別売市販品)、単四型ニッケル水素充電電池 $\times$ 3 (別売市販品) 専用ACアダプター (DC5V 200mA/別売・型番YVR-AC1)	
再生時電池 持続時間	イヤホン：約2.5時間 (AMラジオ聴取時) ※JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。	

録音時電池 持続時間	ボイスレコーダー：約34時間 ※JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
最大録音時間	付属マイクロSDカード 4GB 約260時間
マイクロ SDカード	SD 2GB SDHC 32GB
外形寸法	W55mm×D21mm×H11.5mm
重 量	約75g

#### ご注意

電池持続時間は参考値です。

使用する電池、使用する条件により大きく異なります。

※全ての録音はモノラル録音となりますのでご注意ください。

※内蔵スピーカーはモノラルです。

#### <ノイズについて>

本機をご使用中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけるとノイズが入ることがあります。

### 付属品等のオプション販売のご案内

下記の付属品を破損又は紛失した場合はお取り寄せとなりますので、各販売店にお問い合わせください。市販品はご使用になれませんのでご注意ください。

	製品名	型番
1	ラジオボイス用ACアダプター	YVR-AC1
2	ラジオボイス用AM用ループアンテナ	YVR-AM2
3	ラインケーブル	YVR-LN1
4	USBケーブル	YVR-USB1
5	ステレオイヤホン	YVR-ER2

※価格につきましては、販売店にご確認ください。

※上記のオプション品は状況により手配できない場合がございますので、販売店にご確認ください。

## 免責事項

- 本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いません。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡下さい。
- 本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書と本製品の異なる部分がございましたら、本製品の仕様を優先させていただきます。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくはQriomサポートセンターにご連絡ください。

また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
- ②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
- ③本製品のために費やした時間、経費
- ④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
- ⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

※本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

## お手入れの仕方

### ＜本体の清掃＞

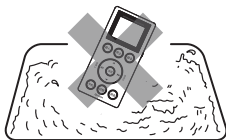
汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

### お 願 い

- お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学そうきんなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。



- 本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。



## アフターサービス

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。詳細は保証書をご覧ください。

アフターサービスについてご不明な場合は、キュリオムサポートセンターにお問い合わせください。

キュリオムサポートセンター：

 **0570-00-9106**

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：**E-mail : support@qriom.com**

ホームページ：

## 個人情報保護のお取り扱いについて

株式会社山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理義務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。